



東陽の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和5年8月25日（金）No 16 発行
文責：松本 卓也

学校ではできない出会いや学びを楽しみましたか

今年の夏休みはどのように過ごされたでしょうか。子どもたちが、「命を守る」という約束を守り、登校してくれたことを何より嬉しく思います。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」となり、お祭りやスポーツイベント等も以前のように開催されました。子どもたちからは、「〇〇に行きました！」「〇〇に会いました！」等の声が聞かれ、夏休みを満喫したようすが伺えました。保護者の皆さまには、お子様の体調管理や生活面、学習面での見守り等、大変お世話になりました。さて、本日より2学期がスタートしました。子どもたちは、夏休み中も部活動や駅伝練習（体力づくり）、学習会に伝統文化学習の練習等、さまざまな活動に意欲的に頑張ってくれました。2学期も、「自律」し「貢献」する生徒の育成に向け、自主的・実践的な活動をたくさん経験させ、自発的・自治的な集団をつくる力を育ててまいります。保護者の皆さまには、お願いすることが多々あるかと思いますが、本校教育への引き続きのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



自分の言葉で伝えるようにしています！

21日（月）、天草市立河浦中学校の生徒の皆さんとボランティアガイド交流事業を行いました。実際にガイドを受けながら、崎津教会等の潜伏キリシタンの関連遺産や地元の名産を販売する直売所を巡ったり、その後の学習会で意見交換をしたりする中で、「地域の魅力を伝える際に大切にしていることは、原稿通りではなく、自分自身の言葉で伝えるようにしています。」ガイドをお客さんとして教えた学び多き1日になりました。



愛校作業・資源回収、お世話になりました

20日（日）、親子愛校作業と資源回収を行いました。愛校作業では、手際の良い作業のお陰で校地内が大変きれいになりました。資源回収でもPTA三役、地区委員の皆さま方のお陰で、今回も多く資源物を回収することができました。売上金は、子どもたちの学習環境整備に大切にさせていただきます。本当にありがとうございました。



【編集後記】みなさんにとって「平和」とは何ですか

▼多くの尊い命を奪った太平洋戦争が終結して78年が過ぎました。当たり前の日常や誰もが幸せに生きることができる世の中を創っていくことは、今を生きる私たちの「使命」だと考えます。▼6日（日）に開催された広島平和記念式典では、小学生二人がこども代表として、「平和への誓い」を読み上げました。



みなさんにとって「平和」とは何ですか。争いや戦争がないこと。差別をせず、違いを認め合うこと。悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること。身近なところにも、たくさんの平和があります。（中略）

あれから78年経ちました。今の広島は緑豊かで笑顔あふれるまちとなりました。「生き残ってくれてありがとう。」命をつないでくれたからこそ、今、私たちは生きています。

私たちにもできることがあります。自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。友だちのよいところを見つけること。みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。

今、平和への思いを一つにするときです。被爆者の思いを自分事として受け止め、自分の言葉で伝えていきます。身近にある平和をつないでいくために、一人一人が行動していきます。誰もが平和だと思える未来を、広島に生きる私たちがつくっていきます。

令和5年（2023年）8月6日 こども代表【出典：広島市HP】

▼戦争は決して遠い昔の出来事でも、他人事でもありません。今、世界で起こっている「戦争行為」について、私たちみんなが自分の意見を持つことが大切です。東陽中の子どもたちが「平和」を創る主体者として育ててほしいと願っています。

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）